

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年5月26日～2014年6月1日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年6月6日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼アंकワブ「大統領」の辞任(6月1日)

・27日、野党4党および7つの政治団体から成る「調整評議会」がソフミ市中心部でアंकワブ「大統領」に対する大規模な抗議デモを実施。「調整評議会」はこれまで社会・経済の停滞、ロシアの経済援助の非効率的な使用、アブハジア東部のグルジア人住民に対するアブハジアのパスポートの配布などを理由に、「内閣」、「検事総長」、アブハジア東部3地区の地区長の罷免および「大統領」の権限を縮小し「議会」と「首相」の権限を拡大する「憲法」改正を「大統領」に要求していた。

・27日深夜、デモ参加者たちが大統領府および公共TV放送局を占拠し、アंकワブ「大統領」は避難。28日未明、アंकワブ「大統領」はデモを暴力による権力奪取の試みとして非難し、自身はアブハジア内に留まり「安全保障会議」のメンバーと対応を協議中との声明を発表。

・28日、「臨時議会」が召集されたが、定足数に足らず成立せず。

・ザルカリアニ外務次官、ツィヘラシヴィリ和解・市民平等担当国務次官らは事態に対する懸念を表明し、特にグルジア人住民の人権状況を憂慮。バクラゼ「統一国民運動」院内総務は、ソフミの事態はロシアがアブハジアの併合を企図しているとの疑いを呼び起こすと発言。

・28日、スルコフ露大統領補佐官およびヌルガリエフ露連邦安全保障会議副書記がアブハジアに到着。

・29日、「調整評議会」は、「NATOへのグルジアの加盟の加速化に関連した新しい国際的な状況に鑑み」ロシアの戦略的パートナー関係を質的に新たなレベルに導く新たな条約が必要であるとの声明を発表。また、声明は、関税同盟、ユーラシア経済共同体およびユーラシア連合への参加を目指すとしている。

・同29日、「調整評議会」は、野党代表者21名から成り、政府の機能を担う「暫定国家評議会」の発足を発表。議長は野党指導者ハジンバ「議員」(元「副大統領」)。

・29日夜、「議会」はラケルバイア「首相」に対する不信任を表明し、アंकワブ「大統領」に自発的な辞任を促す決議を採択。

・31日、「議会」はアंकワブ「大統領」が大統領権限を行使できなくなったとして、ブガンバ「議会議長」を「暫定大統領」に指名し、8月24日に「大統領選挙」を実施すると発表。

・1日、アंकワブ「大統領」は「国内の安定を維持する

ため辞任する」との声明を発表。また、声明は、野党の行動をクーデターであると非難し、この事態はアブハジアに破滅的な結果をもたらす可能性があるとしている。

・同1日、アंकワブ「大統領」の辞任を受け、スルコフ露大統領補佐官は、「危機の平和的な解決」を歓迎し、ロシアはアブハジアに対する経済的・軍事的支援を継続するとの声明を発表。

#### 【南オセチア】

##### ▼ヒビロフ統一オセチア党党首の発言(26日)

・「議会」選挙での支持率調査でリードする「統一オセチア」党のヒビロフ党首は、選挙後、直ちにロシアへの編入に対する支持を問う住民投票を実施し、編入の実現を目指すとの発言、

### 2. 外 政

#### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領とウクライナ大統領選挙に勝利したポロシェンコ氏との電話会談(27日)

・「マ」大統領は「ポ」氏との電話会談で大統領選挙での勝利を祝うとともに、「ポ」氏の勝利によりウクライナに安定がもたらされ、グルジアとウクライナはともに欧州との統合の歴史的な道を進み続けると述べた。

・「ポ」氏は「マ」大統領に感謝を述べ、「マ」氏を大統領就任式に招待した。

・27日、外務省は、ウクライナの大統領選挙が成功裏に行われたことを歓迎するとの声明を発表。

#### ▼グルジアとトゴ共和国が外交関係を樹立(27日)

・ニューヨークのグルジア国連代表部にて両国の国連大使が外交・領事関係の樹立に関する議定書に署名を行った。議定書によれば、互恵的な友好関係を持つことを望む両国の関係は、国家主権、主権平等、領土一体性および国境不可侵の原則に基づく。

#### ▼アフガニスタンでの部隊の駐留を継続するとの米大統領の決定に関する外務省声明(27日)

・27日、オバマ米大統領が、ISAF ミッション後も2016年末までアフガニスタンでの部隊の駐留を継続するとの決定を発表したことについて、外務省は同決定を歓迎し、この極めて重要なミッションにグルジアは価値ある貢献を継続する用意があるとの声明を発表。

#### ▼メルケル独首相とグルジア、ウクライナ、モルドバの首相の会談(28日)

・ベルリンで行われた会談で4カ国の首相は地域情勢について議論。会談後に行われた記者会見で、ガリバシヴィリ首相は、欧州との統合の追求はグルジアの外交・内

政政策の基礎であると強調。

### ▼ハサノフ・アゼルバイジャン国防相がグルジアを訪問(29日)

・ガリバシヴィリ首相、アラサニア国防相と会談。「ア」国防相との会談では、軍事技術、軍事警察、教育の分野の経験の共有など、国防分野における二国間関係・協力について議論した。トルコを含めた3カ国のフォーマットでの協力の推進にも言及。会談後、「ア」国防相は、アゼルバイジャンは地域における最も重要な戦略的パートナーであると強調した。

・「ハ」アゼルバイジャン国防相はグルジア軍の訓練所やデルタ研究センターを視察し、グルジアから軍装備品を購入する可能性に言及。

### ▼パンジキゼ外相がバーンズ米国務次官らと会談(29日)

・29日、訪米中の「バ」外相はバーンズ米国務副長官、スーランド国務次官補、パワー米国連大使らと個別に会談し、グルジアの被占領地域の状況および難民・国内避難民の地位に関するグルジアの国連決議に対する米国の支持を含む、グルジア・米国の協力、地域情勢、グルジアの欧州との統合、NATO加盟などについて話し合った。

・30日には、フェルトマン国連事務次長と会談。

### ▼緊急事態の予防に関するグルジア・ラトビアの協力(30日)

・30日、グルジアの「警察の日」を記念する催しがバトゥミで行われた。催しに出席したコズロフ・ラトビア内相とチカイゼ内相が「緊急事態の予防・対策・対応の分野におけるグルジア政府とラトビア政府の協力」に関する合意に署名。

### ▼NATO議会会議の声明(30日)

・ヴィリニウスで行われたNATO議会会議は、9月にウェールズで行われるNATO首脳会議でグルジアにMAPを与え、グルジアをよりNATOに近づけることを考慮するようNATO諸国に呼びかける声明を採択。

・採択後、ラスムセンNATO事務局長は、グルジアは将来の加盟を目指し、条件を満たすべく多くを達成したとしつつ、NATOは加盟を目指す4カ国(グルジア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、モンテネグロ、マケドニア)の評価を未だ検討している段階であり、首脳会議の決定を予測するには尚早であるとコメント。また、6月末のNATO外相会合で、首脳会合における「門戸開放」方針の扱いについて何らかの結論が出されるだろうと述べた。

## 3. 内政

### ▼独立記念日(26日)

・トビリシ中心部の自由広場で行われたグルジア軍の新兵の宣誓式で、マルグヴェラシヴィリ大統領は、国土の一部が占領下にあるグルジアの独立は未だ脆弱であり、民主的で自由な国を建設せねばならないと演説。

・ガリバシヴィリ首相はTVを通じた演説で、グルジアは近い未来にEUに加盟するとして、欧州との統合の方針を強調した。

### ▼ケゼラシヴィリ元国防相に対する無罪判決(27日)

・2013年1月、フランスに滞在中の「ケ」元国防相長に対し、検察は1230万ドルの収賄を含む汚職の容疑で本人不在のまま起訴。27日、トビリシ市裁判所は無罪判決を下した。2014年2月に仏エクス・アン・プロヴァンス市裁判所はグルジア検察からの送還の要請を拒否している。

・「ケ」元国防相は他にも汚職の容疑2件で起訴を受けている。

### ▼EUとの連合協定に署名する権限を首相に委譲する大統領令(27日)

・6月27日にEUとの連合協定に誰が署名するかについて、マルグヴェラシヴィリ大統領とガリバシヴィリ首相の双方が署名の権限を主張していた件に関し、27日、パタライア大統領秘書官は、政府が署名を行なう権限を首相に与えることを決定したことを受け、「首相の署名の有効性に関する疑義が起こらないよう、大統領はその権限を今回特別に首相に委譲する」と述べた。権限の委譲に関する大統領令には、首相の副署が必要である。

・これに対しガリバシヴィリ首相は、連合協定への署名についての自身の権限は大統領から委譲されるべきものではないとして、大統領令に副署する必要はないと発言。

### ▼国会が統一地方選挙後の全地方公務員の解雇に関する規定を削除(29日)

・2月初めに国会で採択された地方自治法改正は、統一地方選挙後に全ての地方公務員をいったん解雇し、新しい職員が募集を通じて決定するまで暫定的な地位に置くとしていた。同規定はNGOなどから批判され、人権保護官事務所が憲法裁判所に提訴した。批判を受け、国会は同規定の削除を決定。

## 4. 経済

### ▼2013年の失業率(27日)

・国家統計局が発表。2013年の失業率は14.6%。前年の15.0%からわずかに低下。都市部25.6%、地方6.5%。地方別では、アジャラ自治共和国を除く全ての地方で失業率が低下した。就業者の61.3%が自営業。

### ▼アゼルバイジャンからのガスの輸入が増加(27日)

・国家統計局によれば、2014年第1四半期のアゼルバイジャンからのガスの輸入量は620,590トン(1億2435万ドル)。前年同期比2割増。

・天然ガスの全輸入量のうちアゼルバイジャンからの輸入は83.68%を占める。他はロシアなどから。

### ▼2014年4月のGDP成長率(30日)

・国家統計局の発表した速報値によれば、2014年4月の実質GDPの成長率は前年同月比で2.7%。